

体験談・官能小説 R-18

——その夜、板がざわめいた——

人妻美容師をオーナーに寝取らせた報告 本気で堕ちた夜

実話投稿板より

TOR-NET

R-18

©2026 TOR-NET

本作はフィクションです。実在の人物・団体とは一切関係ありません。

俺だ。30歳のただの会社員。妻の香奈を誰かに奪われる姿を想像すると、胸の奥が熱くなって、股間が疼いて仕方ない変態だ。

香奈は28歳の美容師。明るい栗色の髪をゆるくまとめて、細い指でヘアピンを一本ずつ外す仕草がたまらなくエロい。梅雨でじめじめした6月の夜、帰ってきたらすぐに鏡台の前に座って、ため息混じりにピンを外していく。あの後ろ姿を見てるだけで俺は後ろから抱きついて、首筋にキスしながらブラウスをまくり上げてしまう。香奈は「ちょっと、拓也……まだお風呂入ってないよ」と少し恥ずかしがりながらも、俺の手に抵抗せずに体を預けてくる。俺がリードして、彼女が少し照れながら感じる、そんな普通の夫婦の夜がここ最近は特に興奮してた。



でもこの「まあいいや」って気持ちがどんどん膨らんで、最近では本気で香奈を差し出したい衝動が抑えきれなくなってきた。浩二って美容室のオーナーが香奈に目をつけてるのは前からわかってた。あいつ、店を閉めた後に「今日も頑張ったな」って肩に手を置いたり、香奈の髪を直すふりして指を這わせてるのを見たことがある。香奈はただ笑って流してるけど、俺はその光景を想像するだけで熱くなって、でも同時に「もっと進めてくれ」って思ってしまう自分がいる。

出張が決まって、1日から5日まで家を空けることになった。梅雨の最中で、香奈は毎日雨に濡れながら店に行く。俺はその隙に、そっと浩二に勾わせておいた。香奈の留守中の鍵の場所とか、彼女が一人での夜の話とか、ぼかしながら。でも本当は、もっと深く侵食してほしいって願ってる。香奈はまだ何も知らない。ただ普通に朝起きて、俺に「おはよう」ってキスして、美容室に向かうだけだ。

正直、怖い。でもその怖さがたまらなく興奮する。香奈の体が、俺じゃない男の匂いや熱で染まっていくところを想像すると、もう指が止まらない。最初の接触が2日目の夜になるってわかってるだけで、俺は今この瞬間も、妻の帰りを待ってるような気持ちでいる。

まあいいや。全部、香奈に知られないうちに進んでくれ。

002 名無しさん 会社員の拓也が香奈の後ろ姿見て股間疼かせてる想像とかマジで仕方ないよなwww 梅雨の鍵の勾わせ最高に興奮するwww

003 名無しさん >>2 俺も昔同じく美容師の嫁をオーナーに勾寄せたことあるけど、1日から5日出張の隙に進めるのって現実的すぎて草www 股間が疼く気持ちわかるわ

004 名無しさん >>2 そんな想像だけで満足してる時点でただの妄想だろ 法律的に何の問題もないけど香奈にバレたら終わりだぞ 草

005 名無しさん 香奈のピン外す仕草…想像しただけで…仕方…股間…

006 名無しさん 浩二が肩に手置くシーンがリアルすぎ

007 名無しさん 出張中の鍵の話もっと

008 名無しさん 民法上は夫婦間の合意があれば問題ないが、第三者が関わる場合は慎重に。香奈の同意がなければ後でトラブルになる可能性がある。

009 名無しさん 香奈の体が他の男の匂いで染まるの想像したらたまんねえな もっと進めろよw

010 名無しさん >>3 現実的すぎるってマジで？ 1日から5日って期間指定してる時点で本気じゃん。鍵の場所まで匂わせてるのヤバすぎだろ

011 名無しさん 香奈がまだ何も知らないのが興奮ポイントだよな。普通に「おはよう」ってキスしてる時点で完全に蚊帳の外

012 投稿者 >>2 鍵の話はぼかして匂わせただけだけど、浩二の反応見ると本気で来そうでヤバイ

013 名無しさん >>8 同意とか関係ねえだろ、ここはそんな話してねえよ。妄想で十分興奮してるんだから

014 名無しさん 2日目の夜に接触って具体的にどう進めるつもりなんだよ。もっと詳しく書けよ

015 投稿者 >>7 鍵は植木鉢の下。梅雨で雨降ってる夜に留守宅ってだけで十分匂うだろ

実 況 台 本

んっ……また、こんな風に後ろから……

はぁ……拓也が……出張でいないうちに……

この手、知ってる……浩二さんの……

ん……んっ……！ 待って……まだ……

でも、押し返せない……体が……

はぁ……はぁ……この匂い……昔と同じ……

拓也には……絶対に……言えない……

……ピンが、落ちた……

これで、もう……隠せない……

あっ……そこ……だめ……

なのに、熱い……指が、肌の下まで……

んっ……あっ……んあ……

拓也の……指とは違う……

もっと、奥まで……探ってくる……

いや……いや、でも……

もう、止まらない……

このまま……受け入れて……しまう……

あっ……あっ……んっ……！

ここ……気持ち……いい……

拓也には……こんな声、出せなかった……

はぁ……はぁ……もう……

戻れない……わかってる……

でも、止まらない……体が……欲しがってる……

ん……んん……！

……これで、決まった……

もう、香奈は……浩二さんのもの……

あっ……あっ……イク……

イっちゃう……！ あぁ……！

……もう、いい……

このまま……朝まで……

はぁ……

拓也、ごめん……

もう、戻れない……

>>15 まあいいや、ただの匂わせだよな。てか2日目朝、会社
行きの電車の中でずっと香奈の後ろ姿想像して股間疼きっ
ぱなしだったわ。出張初日の夜は普通に電話で「おやすみ」つ
言ってたのに、2日目朝は玄関でいつもの「おはよう」のキ
スした瞬間、俺の頭ん中もう浩二が香奈の首筋に唇寄せてる
妄想で埋まってて、声震えそうになった。

香奈は黒いヘアピン外しながら鏡台の前でため息ついて、
「今日も雨か…」って呟いてた。梅雨の湿った空気の中で、彼
女の肩に落ちてた雨粒が光ってて、ただそれだけで俺はもう
我慢できねえ感じだった。店開けるために美容室に向かう香
奈の後ろ姿見て、鍵預けて出た時点で完全に蚊帳の外なん
だよな。



店着いた香奈は一人で開店準備始めて、シャンプー台の水
音とドライヤーの準備音だけ響いてる。湿気で髪が少し波打ってるの見て、浩二が「今日も忙しそうだな」って声かけ
てくる影がもうチラついてて…

香奈が鏡の前でピン外す仕草、首筋をちょっと傾けるだけで、梅雨の雨音が店の中にまで響いてくる感じがたまんね
え。黒いエプロン着て、シャンプー台の蛇口ひねるたびに水しぶきが指に飛び散って、彼女の指先が少し濡れて光っ
てる。俺が想像してるだけで股間が熱くなって、電車の中でズボンの上から押さえながら、香奈がまだ何も知らずに
「おはよう」ってキスしてくれた朝の感触を何度も思い出してた。唇が柔らかくて、いつもの匂いがしたのに、頭の中じ
ゃもう浩二の指がその唇をなぞってる妄想で埋まってて、声もろくに出せなかった。

店の中は湿気で少し蒸してて、香奈が一人でタオル畳んでる音、ドライヤーのコードをコンセントに挿す音、全部が妙
に官能的に聞こえてくる。彼女が「ふう…」って小さく息を吐くたびに、胸元が少し動いて、雨で少し肌に張り付いたシャ
ツのラインが浮かんでる。俺は出張先のホテルで、ただそれだけの想像で何度も腰を浮かせてる。香奈がまだ蚊帳
の外で、普通に店開けて、普通に「お客さんおはようございます」って笑ってる姿が、逆に一番興奮する。鍵の話とか
はもう匂わせてるから、後は勝手に進むのを待つだけだよな。もっとこの感じ、じっくり味わいたいわ。

002 名無しさん 梅雨の雨音が店に響く中、電車の中で後ろ姿想像して股間疼きっぱなしって、2日目朝の会社行きでそんな状態になる
のも湿気と相まってヤバイよな。

003 名無しさん >>17 また天気で脱線してんのかよ、電車の話に絡めて上手いな。

004 名無しさん >>18 てめえが言うなよ、俺は昔出張中に嫁の後ろ姿見て電車で同じことしたことあるけど、こいつのは想像が細か
すぎて釣りくせえ。

005 名無しさん 香奈の後ろ姿…電車の中で…股間…

006 名無しさん また電車で股間とか毎回同じネタかよ、OPの自演乙。

007 名無しさん 2日目朝の電車想像だけでここまで書くなんて明らかに盛ってるだろ、釣り確定。

008 名無しさん 会社行きで電車で妻の姿を想像して股間が疼く行為自体は問題ないが、もし実際に第三者が関われば民法上のトラブルに発展する可能性があるので注意した方がいい。

009 名無しさん 電車の中で後ろ姿想像して股間疼きながら出張先で待つとか最高に興奮するわ、もっと2日目朝の詳細書けよw

010 投稿者 >>23 匂わせてるだけだから大丈夫だよ

011 名無しさん >>20 香奈の後ろ姿で股間とか電車民みんな同じこと考えてそうで笑うわ

012 名無しさん >>19 細かすぎて釣りって言うけど、美容室のシャンプー台の水音まで想像できる時点で本気で興奮してる証拠だろ

013 投稿者 >>19 盛ってないよ、ただの妄想だから

実況台本

……もしもし。……うん、私。拓也はもう出張でいないよ。今日から五日間、完全に不在。

……え？ 今、店に来てる。開店前。梅雨で雨音がうるさくて……誰もいないから、声、出しても大丈夫。

黒いヘアピン、鏡台の前で外したの。指が震えてて、うまく外せなくてさ。外した瞬間、なんか……夫の顔が浮かんた。ごめんね、って。

でも、電話、かけてきてくれて……嬉しい。いや、嬉しいって言っちゃダメだね。私、こんなことしてる時点で、もう……。

拓也とは、六年間一緒にいた。喧嘩もしたけど、普通に好きだった。朝、髪を整えてくれてありがとう、って言ってくれる人だった。

でも、あなたの声聞いたら、急に……昔のことを思い出しちゃう。学生の頃みたいに、自由に会えるって思うと、胸が苦しくて。

指輪、まだしてる。外してない。外せない。外したら、全部終わる気がして。

……ねえ。もし、私が今ここで「会いたい」って言ったら、どうする？ 本気で？

……うん。わかった。今日、店を早めに閉めて、駅の近くのカフェに来るって。

これで、もう戻れないよね。私、夫に嘘ついて、誰かと会うって決めた。髪ピン外したときから、気づいてた。心のどこかで、待ってたんだって。

拓也、ごめん。もう、決めた。あなたと、今日、会う。

店、開ける準備、しなきゃ。……また、電話する。

>>20 後ろ姿だけで電車で股間疼きっぱなしとか、俺も含めてみんな同じ穴のムジナだよなwww 梅雨の湿気と相まって、ズボンの中でじっとり熱くなって離れねえんだよなこれが。名無しが言ってた通り、香奈の首筋とか後ろ髪とか想像しただけでヤバイ。

出張2日目の夜、香奈は一人で店閉めてたらしい。梅雨の雨がガラスに叩きつける音がずっと店内に響いてて、シャンプー台の残り水が床に落ちる「ポタ…ポタ…」って音と混じって、妙にねっとりした空気だったって。香奈は最後のタオル片付けて、鏡の前で自分の顔見てため息混じりに「お疲れ…」って小さく独り言吐いたらしい。鍵をカチャってかけて、雨の中を帰った。俺はその頃出張先の狭いホテルで、布団に転がりながら彼女の帰宅ルートを想像して、股間を握りしめたまま動けねえ状態だった。雨音が外で鳴ってるのに、頭の中は香奈の「お疲れ…」の吐息と、店内の湿った床の匂いがリアルに浮かんで離れねえ。



で、3日目朝。香奈はいつも通り店開けて、シャンプー台の周り準備してた。梅雨特有のじめじめした空気が店内にこもってて、窓ガラスが少し曇ってる。そこに浩二が顔出して、普通に「最近の予約の件、ちょっと相談あるんだけど」って声かけたらしい。スケジュール帳広げて、二人並んで予約の埋まり具合とか確認してたって。香奈はまだ普通に夫婦の日常そのままに、首を少し傾げて「この時間空いてるから、こっちの客をずらしましょうか」みたいな感じで頷いてたそう。浩二の声は低めで落ち着いてるけど、雨音が店内に響く中、香奈の返事の息遣いが少し熱っぽく聞こえたって想像したら、俺はもう会社行きの電車の中で立ってられないくらい股間が疼いてた。香奈の首筋に汗が一筋伝うのが見えたらしくて、湿った空気の中でその汗が光ってる感じを想像すると、ズボンの中で先走りがじわって染みてきたわ。

まだ業務の話に留まってるみたいだけど、浩二の目が香奈の肩とか腰のラインに何度か止まってるの、香奈は気づいてねえっぽい。雨の音が二人を包み込んで、店内の湿気で香奈の髪が少し張り付いてる感じ…想像しただけで指が震える。物証とかはまだ出さねえけど、このまま進むとどうなるか、みんなも想像してくれよなwww

まあいいや、続きはまた後で吐き出す。

002 名無しさん ムジナ同士で店閉後の雨音ヤバイわ。ガラス叩く音までリアルで草

003 名無しさん >>30 ガラスに雨が叩きつけるって書いてあるけど、梅雨の美容室でそこまで響く設定はちょっと不自然だな

004 名無しさん >>31 ガラスの音より、香奈が鏡の前でため息混じりに独り言吐いたところが一番ヤバイ

005 名無しさん 雨音…店閉…名無の想像…ヤバ…

006 名無しさん 名無もズボンの中で先走り染みてるだろwww ガラス越しの雨音で股間熱くしろよ

007 名無しさん 出張先の狭いホテルで転がってるってところがミソか？

008 投稿者 >>31 美容室のガラスは大きいから雨音結構響くぞ

009 名無しさん 出張先のホテルで股間握りしめてるシーンがリアルすぎて草

010 名無しさん 香奈の首筋の汗、想像しただけでヤバいなこれ

011 投稿者 >>36 まだこれからだよ、待ってろ

実 況 台 本

……んっ……雨、すごい……。店じまい、ようやく終わった……。拓也が帰ってくるのはまだ五日後だよ……。今日も、ただの仕事の話だと思ってたのに……。

浩二さん……？ 急に……そんな、手を……。予約表、見てるのに……。やめて、って……。声、出ない……。指が、首筋に触れてる……。汗、冷めてるのに、熱い……。

黒いヘアピン……。さっき、鏡の前で外したとき、ため息ついたの、思い出す……。あのとき、ただの疲れだと思ってたのに……。今は、怖い。なんで、こんなに背筋が冷えるんだろう……。浩二さん、さっきから、わざと近づいてきてた……。私、気づいてなかった……。

拓也……ごめん……。出張でいない間に、こんな……。でも、止めない。自分が、止めなかったって、わかってる……。浩二さんの指、熱い……。梅雨の雨音、店の外でずっと鳴ってる……。この雨、いつまで続くんだろう……。

ん……っ……。首筋、唇が触れた……。熱い息、かかっている……。やめて、って言いたいのに、声が……。拓也の指輪、まだしてるのに……。これ、越えちゃう……。今、この瞬間……。

……もう、遅い……。浩二さんの手、腰に回ってきた……。キス……される……。唇、重なって……。んっ……あっ……。舌、絡んで……。これ、ただの相談じゃなかった……。私、わかってたのに……。気づいてたのに、店に残った……。

拓也……。この手、浩二さんの手……。もう、私の体、触られてる……。戻れない……。この雨の中、帰る道、変わっちゃう……。黒いヘアピン、ポーチにしまったまま……。あのときのため息、ただの疲れじゃなかった……。後悔、してる……。でも、離せない……。

あっ……ん……。耳元、息が熱い……。「香奈」って、名前で呼ばれた……。夫の名前じゃない……。これで、決まっちゃった……。所有、移っちゃう……。もう、拓也のものじゃ……。いや、でも……気持ち、いい……。いや、だめ……。でも、体、反応してる……。……決定的に、壊れた……。今、この場で……。浩二さんに、抱かれる……。雨の音、店の鍵を閉める音……。もう、外の世界、関係ない……。私、変わった……。戻れない線、越えた……。夫に、いつか全部知られる日を想像しながら……。今は、ただ、この熱に、沈んでいく……。

……これで、終わり……。

ここまでが体験版です。続きは製品版で――

第2部では、音声実況の第1トラックをお楽しみいただけます。

サークル：TOR-NET